

地域包括ケアシステムの充実に向けた 看看連携交流会

<テーマ>

様々な問題を抱えながら地域で暮らす高齢者を
支える多職種連携の実際

長崎県では、総人口や現役世代人口が減少している中、高齢化率は全国を上回るペースで上昇を続けており、75歳以上の後期高齢者人口は2035年にピークを迎えると推計されています。地域でよりよく暮らすためには、独居や介護力不足により支援を必要とする高齢患者も少なくありません。

今回、地域包括ケアシステムにおいて高齢者を支える多職種連携の実際を知り、地域の中で安心して暮らせるために、医療職が担う役割とその支援について考えます。

日時

令和7年 **1月25日(土)** 14:00～16:00 受付開始 13:30

場所

長崎市医師会看護専門学校 5階 5-2教室

※長崎市医師会看護専門学校入口よりお入りください（入口は13:30開錠となります）

話題提供

①長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター
係長 宮川 江利 先生（医療ソーシャルワーカー）

②重工記念長崎病院 訪問看護ステーション
看護師長 中村 優子 先生
副看護師長 川向 真弓 先生

参加費
無料

対象

テーマに関心のある医療職：50名

お申し込み

県協会HP > 支部活動 > 県南支部 > 研修案内

(<https://nagasaki-nurse.or.jp/page-branch02.html#02>) より

無料交流会等申込書1をダウンロードし、下記アドレス宛に
メール添付にてお申し込みください **1月17日(金) 必着**

長崎県看護協会県南支部事務局 E-Mail kangokennan@live.jp

お問い合わせ TEL : 095- 820 - 3033